

第一〇一回 全国高等学校サッカー選手権大会

出場 お礼

春寒の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃本校サッカー部に対しましては、温かいご声援とご支援とを賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、この度の二年連続十二回目の全国高校サッカー選手権大会に際しましては、多くの皆様よりたくさんのお励の言葉をいただき誠にありがとうございます。さらには、大会出場と強化合宿等のための醸金へのご協力をお願いいたしましたところ、短い期間にもかかわらず大勢の皆様のご理解とご支援金へのご協力を頂戴いたしました。関係者一同衷心より御礼申し上げます。

今年度の本校サッカー部は、高円宮杯U・18プリンスリーグ北海道への昇格を果たしましたが、当初から大変厳しい戦いが続き、昨夏のインターハイでも思うような結果が出せず悔しさを味わうことになりました。しかし、部員たちはその悔しさをバネに選手主体のミーティングを何度も重ね、自らのサッカーに対する姿勢から見直しを図って、高い分析力を持ったチームへと変革させることができました。それはレギュラーだけではなく、部員一人ひとりが最大限の努力を重ねることの重要性を認識し、強い信頼関係と絆を創り上げることに繋がられるものでした。北海道大会では、そのチーム力が遺憾なく発揮された大会となり、一戦一戦を大切にしようとする気持ちと連覇への強い志と拘りを持って勝ち取った優勝となりました。選手は令和四年十二月二十一日に札幌を出発。静岡県御殿場市で強化合宿を行い選手権大会に臨みました。

今大会は、昨年度に続き長崎県の代表校との対戦となり、過去六回の優勝経験を持つ強豪国見高校との戦いとなりました。前半、北海イレブン持前の粘り強さで堅守しながらも決定的なシーンを作るには至りませんでした。膠着したまま前半を折り返すかと思いましたが先制を許すことになりました。後半に入ると北海イレブンの突破力が光り、ついにキャプテン桜庭平良のシュートで同点に追いつきました。その後は両校とも粘りの試合展開となりPK戦へと突入しました。試合終了間際に投入された守護神葉原慶太を擁する北海は、自信を持ってこのPK戦に挑みましたが、5対6の大接戦の末、惜しくも敗退となりました。

全国の舞台において一勝することの難しさを改めて痛感させられた試合となりました。昨年のリベンジとしてまずは一勝を、という皆様のご期待に応えることはできませんでしたが、選手はひたむきに北海らしいプレーを貫き、最後の最後まで諦めない戦いをしてくれたと思っています。また、今大会からスタンドで声を出しての応援が認められました。部員をはじめ駆けつけていただいた保護者ならびに関係者の皆様からの声援が、選手らのプレーを後押ししてくれるものになりました。熱量のある大変素晴らしい応援であったことにこの場を借りて御礼を申し上げる次第です。今大会の貴重な経験は、必ずや一年、二年生部員に引き継がれ、次年度の活動に向けて一層精進してくれるものと確信しております。

皆様にはこれまで賜りましたご支援とご声援に心からお礼申し上げますと共に、今後も旧に倍するご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

本来であれば直接お伺いしてお礼申し上げますところ、甚だ失礼とは存じますが書面にて感謝の意にかえさせていただきます。

令和五年二月吉日

北海高等学校サッカー部を正月大会へ送る会

北海高等学校サッカー部を正月大会へ送る会会長	出倉 恵 隆
北 海 高 等 学 校 校 長	秋 山 秀 司
北 海 校 校 友 会 会 長	金 井 重 雄
北 海 高 等 学 校 P T A 会 長	島 崎 圭 介
北海高等学校サッカー部OB会会長	和 田 光 弘
北海高等学校サッカー部父会会長	桜 庭 賢 一
北海高等学校サッカー部部長	増 田 裕 樹

同 監 督 島 谷 制 勝

第101回全国高校サッカー選手権大会開会式



キックオフ前の円陣



ゲームの結果

	北海道高校	V S	国見高校
前半	0		1
後半	1		0
PK戦	5		6